安住寺だより

禅の心

第１６１号
発行　安住寺（年4回発行）
臨済宗南禅寺派
大分県杵築市大字南杵築379
〒873-0002　TEL0978-62-2680
URL　http://www/anjyuuji.net
編集　矢野明玄　2・3頁
矢野玄徳　1・4頁

謹賀新年

檀信徒の皆様には、無事に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も倍旧のご法愛をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

平成三十年歳旦

代表責任　矢野明玄
役員住職　矢野玄徳
責任役員　植木文一郎
総代　清末静男
総代　中村文三
総代　西　正文
総代　松本文次
総代　是久幸雄
総代　加藤傳藏
総代　麻生哲治
合掌会長　廣石美枝子

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

大般若・初観音講

一月十七（水）十一時より

一年の無事を祈願する年頭の行事です。是非お参り下さい。午後は、初観音講です。午後も続けてお参りの方はお弁当の用意をしますので出席の届けをお願いします。弁当代＝五百円

参拝のみの方は、弁当代不要です。

昨年も大水害があり、沢山の方々が辛い年越しをされました。一日も早く立ち直ることができます事を念じています。

さて、昨年は皇室会議が開催され天皇陛下のご退位が決まりました。秋篠宮眞子様のご婚約もあり、お目出度いことです。天皇陛下には、常に国民に寄り添い、災害が有れば必ず出向き、励まして下さいました。陛下のお気持ちや行動が、日本人の国民性に大きく影響しているように感じているのは、私だけではないと思います。

敬天愛人（けいてんあいじん）

「敬天愛人」は、西郷隆盛の座右の銘です。天を敬い人を愛す。二つの言葉を熟語にし、色紙などに書いて人々を諭していたようです。

自然に対し畏敬の念を持ち、隣人を愛する気持ちをもって支え合い、被災や苦難からの立ち直りを念じたいと思います。

本年度の年回忌は、下記のとおりです。お早めに相談頂ければ、ご希望の日程でお受け致します。

年回忌・没年
一周忌・平成二十九年
三回忌・平成二十八年
七回忌・平成二十四年
十三回忌・平成十八年
十七回忌・平成十四年
二十五回忌・平成六年
三十三回忌・昭和六十一年
五十回忌・昭和四十四年

役員・総代が一部交代しました

責任役員の川上浩さんが退任されたのと、欠員総代の補充ということで新たに三名の方に総代に就任して頂きました。お名前と役職は、上記年賀挨拶でご確認下さい。任期は、責任役員が平成三十二年三月末まで、総代は三十二年九月末までです。川上さんは、総代と合わせて十四年間お勤め頂きました。

10月24日役員引継ぎ会にて　（前列左側より）
中村さん、清末さん、川上さん、植木さん、松本さん。
後列＝加藤さん、西さん、麻生さん、是久さんです。

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

安住寺檀信徒の皆様におかれましては、平成三十年の新年をつつがなく迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、安住寺護持に檀信徒の皆様は元より、総代様地区世話人様、また合掌会の皆様と、ご協力いただいておりますこと心より感謝御礼申し上げます。

寺報「安住寺だより」を振り返っておりましたら、平成十六年の秋彼岸号に、私が修行から戻りましたことが載せてありました。あれから昨年で干支が一巡したことになります。

また、平成十九年頃より寺報の原稿を閑栖和尚と半々で書くようになっておりました。十二年間と言っても過ぎてしまえば早いものだなあと、感慨深く振り返りました。

また、平成二十三年の晋山式の後から、ご葬儀で引導を渡すようになりましたが、昨年までに百六十名以上の方のご葬儀を務めさせて頂いていました。お名前を確認しながら、色々お話を聞いて勉強になったこと、お寺の行事でお世話になったこと、棚経で道案内をいただいたことなど、思い返すことばかりです。

年年歳歳花相似たり
歳歳年年人同じからず
言を寄す全盛の紅顔子
應に憐むべし半死の白頭の翁
此の翁白頭眞に憐む可
伊れ昔紅顔の美少年

〈有名な唐代の劉希夷の詩の一節〉

来る年も来る年も、山野の花々は、同じように美しく咲くが、年ごとに一緒に花を愛でた大切な人は、もはやこの世には居ない。

若い盛りの美しい君達に言う。年老いた白髪の老人の姿は憐れむべくも、この白髪の老人も、昔はあなた方と同じく紅顔の美少年であったのだと。

年々一年の過ぎるのを早く感じるようになり、この詩の意味や、人生の先輩方から頂いた言葉が身に染みるようになってきました。

「偕老比翼の契（かたら）いも　しばし浮世の夢ならん　兄弟朋友ありしとて　伴い行くことさらになし」と『菩提和讃』にも書かれています。出会いと別れは世の常ですが、各々に頂いた限られた時間は、一瞬一瞬大切なものです。

平成三十年を無事に迎えられたことに感謝し、尊い時間を大切に、真心をもって一年努められるようにと願い、今年の干支色紙には「誠願新たなり」と書かせていただきました。

檀信徒の皆様方にとつて素晴らしい一年になりますようお祈り申し上げます。本年も変わらぬ御法愛を賜りますようお願い申し上げます。

明玄合掌

【グラウンドゴルフ大会報告】

平成 29 年 11 月 8 日に杵築市仏教会主催のグラウンドゴルフ大会が市営山香サッカー場で開催されました。例年寺町の某寺チームが入賞を総なめにしているこの大会。今回こそはと望みましたが･･･。残念。でも楽しく競技していただきました。

《参加いただいた皆様》

諸富房男、藤原力男、藤原英世、田泓勝、麻生哲治
麻生頼、八坂英一、荷宮京子、浦本征夫、石堂慶子
三浦貴之、閑栖和尚　（敬称略･順不同）

以上の皆様ご参加ありがとうございました。

「忖度」ソンタク

昨年は加計学園の問題から、忖度、忖度とメディアで見聞きしないことがないほどでした。今年の流行語大賞にも選ばれました。

忖度政治、忖度社会など「上司や権威ある相手の心中を推し量りその意をくむ」というような、悪い意味合いで使われていましたが、本来の「忖度」の意味は、相手の心中を推し量ること、推察することであり、思いやり、優しさ、心配りのことであります。

これは日本人がもつ美徳であり、素晴らしい精神文化とも言えます。

さて、禅の修行では、「一を聞いて十を知りなさい」（論語・公冶長）。「チーンちゃカーンで動かんか！」（打てば響くの意）などと言われて薫陶を受ける。

禅書『碧巌録』の第一則にも次のようにあります。

山を隔てて煙を見て、早く是れ火なることを知り、牆（かき）を隔てて角を見て、便ち是牛なるをことを知る

山の向こうに煙がたったら火があることを知り、垣根の向こうに角を見れば、牛がいることを察知することで一部を見て本体を見抜いていく洞察力を示しており、鋭い禅の働きが必要であることを言う。これも考ええてみれば忖度と言えるでしょう。

また、禅の教えを最もよく表す言葉に「**不立文字　教外別伝　直指人心　見性成仏**」があります。

経典や古人の禅籍を学び、師家と禅問答を行いますが、その経典や語言にとらわれるのではなく、自己の本性を徹見することが、お釈迦様から伝わっている悟りを体得することで、最も大切だということです。

師家やお釈迦様の心を推察し、行状から大切な教えをくみ取り、悟りへ近づこうとする。究極の忖度と言えるのではないだろうか。

「ソンタク、ソンタク」と騒がしかったが、いい意味の忖度で使って欲しいものです。

日々是好日

●十月一日安住寺の元鎮守である貴布祢神社の大祭に参列させていただきました。東下司の廣石信雄さんに昭和二十三年編纂の「貴布祢神社史跡」を見せていただいた後でしたので緊張感がありました。また紀田宮司様や総代様ともお話しでき勉強になりました。●十月初旬健康診断に。特に問題はありませんでしたが、視力が落ち眼鏡を…老眼でしょうか。●十月二十四日総代会。別記の通り総代様が交代しました。●十一月九日南禅寺派二十四部研修会。来春の説教会の日程など調整。●十一月十七日大分市長福寺、先住様の十三回忌法要にお参り。●十一月二十八日奉仕作業●十二月八日坐禅会納会。十二日写経会納会。会の皆様一年間ありがとうございました。●本年も一月三日に年始会を予定しております。総代様、地区世話人様、年頭お忙し中、お繰り合わせ出席頂きますようお願いします。●一月十七日の大般若祈祷会法要には、一年の平安をお祈りいたします。大勢の方のお参りをお待ちしております。

住職合掌

◎参加者募集【白隠さんと仙厓さん】展

平成30年2月2日（金曜日）

天候不順の場合、翌週9日（金曜日）

九州国立博物館で1月1日から開催されている、【白隠さんと仙厓さん】特別展にご一緒しませんか。

＊8時お寺出発（便がない場合は近くまでお迎えに上がります。）

＊参加費用は2000円　先着9名まで。

＊昼食をとって17時頃帰杵

（その他太宰府天満宮、戒壇院など参拝予定。）

※お問合せ、参加ご希望の方はお寺へご連絡くださ

玄海和尚の位牌を龍門寺にも安置

閑栖記

当寺第十五世金石玄海和尚が若い時に四年間住職をしていた姫路市網干区の龍門寺に昨年お位牌が安置されました。十月二十九日、閑栖がお礼に伺うのに合せ総代さん他有志十名で参拝しました。

龍門寺は、妙心寺派の古刹で現住職は、妙心寺派管長、全日本仏教会会長等を歴任された河野太通老師です。大分県出身で旧制杵築中学校を卒業された、ご縁の深い方でもあります。

私が南禅寺奉職中、太通老師とお出会いする機会があり、師匠が一時期龍門寺の住職をしていたことを申し上げました。それで老師長年の疑問が解け、此度のお位牌の安置ということになった次第。位牌には、龍門寺第十六世・安住寺で遷化（逝去）したと明記されています。

太通老師の導師で読経の後、庫裏にてお茶を頂きました。当日、兵庫県内に住む玄海和尚の元お弟子二人も龍門寺よりの連絡で同席。また、同行した土谷岩治さんは、中学の同級でもあり、昔話に会話が弾みました。

翌日は、赤穂市の歴史を訪ね姫路城、書写山円教寺にも参拝することができました。

工事等のお知らせ

門内南側の塀と墓地水汲み場の工事が完了しました。塀を白くしましたので、境内が広く感じられます。

工事費は、約二一〇万円です。暮からは本堂裏側に庇を増設する工事を行っています。

合掌会活動

☆チャリティーバザー☆

昨年の十一月二十三日、第20回目のチャリティーバザーを開催しました。会員の皆様には、ご協力頂きありがとうございました。経費を差し引いた益金の内二万五千円を杵築市社会福祉協議会へ寄付しました。

四十年続く行事ですが、残念ながら年々出品が少なくなってきたようです。

☆奉仕作業☆

合掌会恒例の奉仕作業を、11月28日に行いました。当日は、男性2名を含め35名の参加がありました。お陰様で天気も良く諸堂の掃除が早く済みました。お勤めを休んでこられた方もありました。ご協力ありがとうございました。　（会長・廣石美枝子記）

◇行事予定◇

一月三日・役員年始会	
一月九日・御詠歌初稽古	
一月十二日(金)・早朝初坐禅会	
一月十七日・大般若・観音講	
一月二十二日・写経写仏の会	
一月二十七日・早朝坐禅会	
二月二十三日・責任役員総代会	
御詠歌	二月7日 三月7日
詠歌観音講	二月16日 三月17日
坐禅会	二月10 24 三月10 17
写経の会	二月20日 三月20日
説教会	四月23日 24日 合掌会

都合により変更することがあります。